

ボランティアだより

ほのボラ

2018年10月発行 No. 61

発行 京丹波町社会福祉協議会

〒622-0213

京丹波町須知鍋倉1番地1

TEL: 0771-82-0126 (地域福祉課)

FAX: 0771-82-2206

URL: <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba>



祝 京都府社会福祉協議会会長表彰受賞!

長年のボランティア活動に対し、傾聴ボランティア なかよし会が京都府社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。

傾聴ボランティア なかよし会

平成23年に発足、瑞穂地区において、ひとり暮らし高齢者宅を訪問し、心に寄り添いながら話を聴く活動をされています。

定例会は、毎月第1水曜日。瑞穂保健福祉センターで行われ、2人1組で傾聴活動が行われます。



以下、代表の藤井美代子さんのコメント。

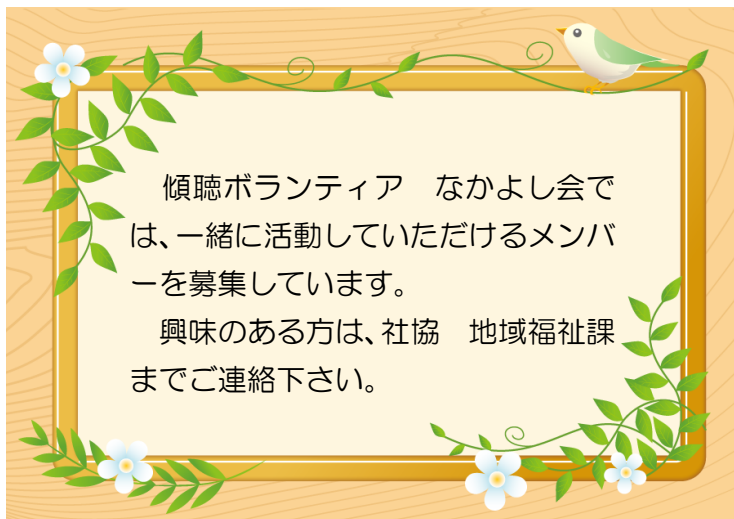
「今回の受賞は今まで培ってきた皆さんの努力と仲間同士のコミュニケーションの賜物だと思います。活動するにあたっては、訪問させていただいた方に、できるだけ寄り添いながらお話を耳を傾けるようにすることを大切にしています。表情や話し方で様子を感じ取れたりすることもあります。私達、傾聴ボランティアは、高齢者のおひとり暮らしの方が、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように、微力ながらお手伝いができたら嬉しいと思い活動しています。」



活動の様子



定例会の様子



ボランティアインタビュー③⑤

保育ボランティア キティ(丹波)

子育て支援センター行事や
離乳食教室等において
乳幼児の保育をしています。



しみず みちよ
清水 美千代さん

Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

「退職して平日の昼間に自分の時間ができ、何かしてみようと社協に相談しました。
保育ボランティアには、子育て中のお母さんを支えたいと応募しました。」

Q2 ボランティアをしていて良かった事は何ですか？

「笑顔や泣き顔などみんな表情豊かで、どのお子さんもかわいいです。
いっしょに過ごすと和みます。」

Q3 あなたにとってボランティアとは？

「社会参加の機会です。京丹波のみなさんには、今までお世話になるばかりだったので、少しでもお返しできればうれしいです。」



いの あきひろ
伊野 彰紘さん

ボランティアインタビュー③⑥

配食ボランティア (和知)

毎日給食、かけはし弁当の配食ボランティアです。
見守り活動の役割も担っています。和知地区では
60名以上の配食ボランティアがおられます。



Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

「民生委員を退任後に社協より配食活動のお話を頂いて始めました。」

Q2 ボランティアをしていて良かった事は何ですか？

「配食時の話が楽しい。元気でおってくれるのが嬉しい。出会える喜びを感じます。
また、配食時不在の連絡を社協と連携する事も大切ですね。」

Q3 あなたにとってボランティアとは？

「人に喜んでもらえ、役に立てるのはありがたいこと。体が続く限り、頑張りたい。」

上野区ふれあいサロン(丹波)

9月27日(木)に上野区ふれあいサロンが開催されました。今回のサロンは、京丹波町危機管理室長の北村和正氏をお迎えして「京丹波町の危機管理について」と題して防災のお話をさせていただきました。7月の豪雨災害のお話や災害が起こる前にどんなことをすればいいのかなどのお話を熱心に聞いておられました。サロンの3日後に台風24号が接近する事で自分がとるべき行動について考える機会となりました。



下村サロン (瑞穂)



9月27日(木)下村サロンでは、堀川むつみさんをお招きし、「ミュージック・ケア」を楽しみました。音楽に合わせて手足を動かした後は、鳴子・鈴・太鼓・木琴などの楽器で合奏。最後は、薄いスカーフを使い、手の中から花が咲くようにふんわりと開いたり、揺らしたりして心が落ち着きました。さまざまな音楽をたっぷり体験され、参加された皆さんは「楽しかった」「またやりたいな」など話をされ、笑顔がいっぱい広がりました。



長瀬あいあいグループ(和知)

9月のサロンはレクリエーション中心のメニューでした。始めにウォーミングアップに数字ごろ合わせゲーム【右図】をしました。音読みと訓読みを組み合わせる事でいろんな言葉に早変わりし、頭の体操になりました。「おもしろい。他にも何か当てはめられそう。」「私は車のナンバーを誕生日にしてる。」など数字についての話題が広がりました。

後半は個人戦でスカットボールを楽しみました。入りそうで入らないボールの動きに一喜一憂でした。

数字ごろ合わせゲーム(一部)

15 → (いちご)

082 → (おやつ)

8808 → (母親)

8083 → (八百屋さん)





男性調理実習会 参加者募集！

日 時 11月9日(金)
10:00～14:00頃まで
会 場 瑞穂保健福祉センター 調理室
参加費 400円
持ち物 エプロン・三角巾・タオルなど

☆お問い合わせ・参加申し込みは地域福祉課まで
申し込み締め切り 10/31(水)



メニュー

白ごはん
鶏肉とさつまいものしょうが煮
小松菜の白あえ
レタスとソーセージの春雨スープ
焼きりんご

京丹波町災害ボランティアセンター 町民講座2018開催しました！



佐用町社協
えみ よしひろ
江見義弘氏

今年度は平成 21 年に兵庫県佐用町で発生した台風による豪雨災害に対し、現地の社協職員から現在までの取組を講演頂き、災害に強い町づくりの大切さを学びました。また、本町で発生した 7 月豪雨での災害ボランティアセンターの取組も映像で振り返り、復旧活動について参加者全員で共有しました。



参加者アンケートより

- ・ 佐用町災害ボランティアセンターの内容は京丹波町災害が今後、以前より拡大発生すると想定した先進的な講座だったと思います。地域福祉の考え方がボランティアに繋がるとの趣旨が把握出来ました。江見様の講座の語り方は常に笑顔があり、聞きやすかったです。
- ・ 京丹波町と同じ規模の町で起こった災害であったので、より参考になる事例として聞かせてもらいました。まず、自分の周りから出来る事をしていきたい。
- ・ 町民講座として会場が同じ思いで聴講できる内容だった。江見副課長の体験された 1/3 の内容も話されなかったとは思いますが、社協が災害ボラセンを立ち上げることの意義や全国社協としてのネットワーク、連携の重要性を強調された内容でとても良かったと思う。

お問い合わせ
連絡先

京丹波町社会福祉協議会 地域福祉課
丹波支所 ☎82-0126(榎川・友金) 和知支所 ☎84-1833(湊)